

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年 6月 1日 更新

事務事業名		都市公園総括型管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	都市建設部	課長名	大塚 勝己
	施策	18	住環境の充実			所属課	都市計画課	担当者名	小川 憲嗣
	施策の柱	58	公園など身近な住環境の整備とみどりの保全			所属班	都市計画班	(内線)	5264
予算科目	会計一般	款 8	項 4	目 2	事業連番 10139	根拠法令	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 2年度で終了 <input type="checkbox"/> 2年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	比較的大型の都市公園(弁天山公園・妙泉寺公園・中央運動公園・竹迫城跡公園・蛇ノ尾公園・飯高山公園・元気の森公園)について、シルバー人材センターや地域住民等で構成される管理組合などへ、草刈・樹木剪定・消毒・清掃・施設点検等を総括的に委託し、公園の維持管理をすることを主とした事業である。
【業務の流れ】	委託費積算・委託者選定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	需用費(光熱水費、修繕費等)、役務費、委託料、工事請負費 など
【意見や要望】	ペットの糞やゴミの放置が多く、ペットの入園禁止を望む声も出ている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動)(DO)	市内の大規模都市公園(7箇所)の維持管理に必要な光熱水費ほか、快適な公園環境を維持するため、シルバー人材センターや管理組合などと業務委託により、公園の適正な維持管理とみどりの保全を行った。なお、森林インストラクターを活用した自然観察会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。	3年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 箇所 ア: 維持管理を行った公園	予算の主な増減の理由 イ: 備品購入費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 公園利用者	(単位) 箇所 ア: 管理対象公園数	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 適正に管理できる・安全快適に利用できる	(単位) 件 ア: 苦情・要望数(大型の都市公園分)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) イ:
*③成果指標設定の理由と3年度目標値設定の根拠 対象の公園についての苦情要望件数は管理状況を示すため		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込	
① 活動指標	ア	箇所	7	7	7	7	7	7	7	7	
	イ										
② 対象指標	ア	箇所	7	7	7	7	7	7	7	7	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	77	18	30	60	30	30	30	30	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	1,000	1,100	1,000	1,220	1,000	1,000	1,000	
		地方債	千円								
		その他	千円	250	173	1,863	1,569	2,233	1,863	1,863	
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	千円	20,784	19,861	20,062	19,166	19,461	20,230	20,230	20,230	
		(A)のうち指定経費	千円	22,034	21,134	22,925	21,955	22,694	23,093	23,093	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	38	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	6	4	2	3	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	650	590	350	630	350	350	350	
(B)人件費計		千円	2,562	2,338	1,394	2,484	1,394	1,394	1,394		
トータルコスト(A)+(B)		千円	24,596	23,472	24,319	24,439	24,088	24,487	24,487		

事務事業名	都市公園総括型管理事業	所属部	都市建設部	所属課	都市計画課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は2年度の事後評価、ただし複数年度事業は2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 3年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 委託により適正な管理を行っており目標達成はできると考える
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 限られた予算・人員でおこなっており、向上余地はない
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 比較的大型の都市公園の維持管理に特化した事業であり類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 シルバー人材センターや地域住民等で構成される管理組合などへ委託しており、専門業者等へ委託発注するよりも事業費は格段に抑えられている状況であるため、労務費等の削減の余地はない。削減を図るには、樹木や施設の撤去廃止が必要であるが利用者の利便性を犠牲にすることとなり、また既存公園全体の廃止は難しいため現状維持に努める。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人員と時間で行っている
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公園は誰もが利用可能であり、公平性は保たれている。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が管理する施設であり役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

シルバー人材センターや管理組合等に委託し、管理等を適切に行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						